

令和 5 年度

水 道 事 業 会 計
【 決 算 概 要 】

令和 6 年 6 月 26 日

滝沢市上下水道部

令和5年度水道事業会計決算概要

1 業務の概要

令和5年度末の給水人口（平均世帯人数による推計値）は、前年度比較で185人減の49,041人となりました。年間総配水量は、前年度比較で80,792m³（1.6%）減の5,117,729m³となりました。

また、有収水量は4,730,931m³で、この結果、有収率は92.4%となり、前年度の92.3%と比較して0.1ポイント上昇しました。施設利用率及び負荷率は前年度より低くなっています。

【表-1】業務概要

区分	年度	令和5年度 ①	令和4年度 ②	比較増減	
				③=①-②	③/②×100
給水人口	A 人	49,041	49,226	△ 185	△ 0.4 %
給水区域内人口	B 人	51,386	51,654	△ 268	△ 0.5 %
給水普及率	A/B %	95.4	95.3	0.1	—
年間総配水量	D m ³	5,117,729	5,198,521	△ 80,792	△ 1.6 %
年間総有収水量	E m ³	4,730,931	4,796,117	△ 65,186	△ 1.4 %
有収率	E/D %	92.4	92.3	0.1	—
一日最大配水量	F m ³	16,219	16,087	132	0.8 %
一日平均配水量	G m ³	13,983	14,243	△ 260	△ 1.8 %
配水能力	C m ³	19,860	19,860	0	0.0 %
施設利用率	G/C %	70.4	71.7	△ 1.3	—
負荷率	G/F %	86.2	88.5	△ 2.3	—

2 決算の概要

(1) 収益的収支

営業収益は、前年度比1.2%減の920,585,713円、営業費用は、2.3%減の804,345,221円で、この結果、営業利益は、前年度比較8,500,651円増（7.9%増）の116,240,492円となりました。

また、営業外収益は、前年度比5.5%増の105,281,026円、営業外費用は、3.8%減の26,003,951円で、この結果、経常利益及び当期純利益は、前年度比較14,984,858円増（8.3%増）の195,517,567円となりました。

【図-1】収益的収支

単位:円(税抜)

収入	給水収益	他会計負担金・ 加入金・手数料	引当金戻入益 ・長期前受金 戻入益	他会計 補助金	預金利息 ・雑収益
	850,888,763 82.9 %	69,696,950 6.8 %	99,215,777 9.7 %	4,538,000 0.4 %	1,527,249 0.2 %
1,025,866,739	営業収益 920,585,713 89.7 %		営業外収益 105,281,026 10.3 %		
支出	維持管理費・ その他営業費用	減価償却費・ 資産減耗費	支払利息	雑支出・そ の他営業 外費用	当期純利益
	371,531,153 44.7 %	432,814,068 52.1 %	25,448,546 3.1 %	555,405 0.1 %	195,517,567
830,349,172	営業費用 804,345,221 96.9 %		営業外費用 26,003,951 3.1 %		(対収入比 19.1 %)

【表-2】前年度との比較(収益的収支)

収 入

単位:円(税抜)

区 分	令和5年度 A	令和4年度 B	比 較 増 減	
			C=A-B	C/B×100
水道事業収益	1,025,866,739	1,031,214,411	△ 5,347,672	△ 0.5 %
営業収益 A	920,585,713	931,397,080	△ 10,811,367	△ 1.2 %
給水収益	850,888,763	859,284,059	△ 8,395,296	△ 1.0 %
受託工事収益	0	715,000	△ 715,000	皆減 %
その他営業収益※1	69,696,950	71,398,021	△ 1,701,071	△ 2.4 %
営業外収益 B	105,281,026	99,817,331	5,463,695	5.5 %
引当金戻入益	5,655,375	6,619,202	△ 963,827	△ 14.6 %
長期前受金戻入益	93,560,402	87,854,661	5,705,741	6.5 %
他会計補助金	4,538,000	4,977,000	△ 439,000	△ 8.8 %
預金利息・雑収益	1,527,249	366,468	1,160,781	316.7 %
特別利益 C	0	0	0	—

※1 内訳 : 他会計負担金 52,465,516円(うち下水道事業会計経費負担額 52,444,516円)、水道加入金(179件)13,590,000円ほか

支 出

単位:円(税抜)

区 分	令和5年度 A	令和4年度 B	比 較 増 減	
			C=A-B	C/B×100
水道事業費用	830,349,172	850,681,702	△ 20,332,530	△ 2.4 %
営業費用 D	804,345,221	823,657,239	△ 19,312,018	△ 2.3 %
維持管理費	371,204,662	387,333,618	△ 16,128,956	△ 4.2 %
原水及び浄水費	138,409,207	150,921,464	△ 12,512,257	△ 8.3 %
配水及び給水費	55,016,744	51,748,420	3,268,324	6.3 %
受託工事費	0	650,000	△ 650,000	皆減 %
業務費	110,182,457	113,657,625	△ 3,475,168	△ 3.1 %
総係費	67,596,254	70,356,109	△ 2,759,855	△ 3.9 %
減価償却費	410,223,422	425,014,706	△ 14,791,284	△ 3.5 %
資産減耗費	22,590,646	10,841,871	11,748,775	108.4 %
その他営業費用	326,491	467,044	△ 140,553	△ 30.1 %
営業外費用 E	26,003,951	27,024,463	△ 1,020,512	△ 3.8 %
支払利息	25,448,546	26,893,712	△ 1,445,166	△ 5.4 %
雑支出	549,205	130,751	418,454	320.0 %
その他営業外費用	6,200	0	6,200	皆増 %
特別損失 F	0	0	0	—
営業利益 G=A-D	116,240,492	107,739,841	8,500,651	7.9 %
経常利益 H=G+B-E	195,517,567	180,532,709	14,984,858	8.3 %
当期純利益 I=H+C-F	195,517,567	180,532,709	14,984,858	8.3 %

(2) 資本的収支

資本的収支（消費税及び地方消費税込額）については、資本的収入が 143,606,400円、資本的支出が 644,345,664円であり、資本的収入が資本的支出に不足する額 500,739,264円は、減債積立金 114,232,243円、建設改良積立金 65,671,137円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 41,781,032円、過年度分損益勘定留保資金 279,054,852円で補てんしました。

なお、企業債償還金 144,800,243円となっています。

【図-2】 資本的収支

単位:円(税込)

収入	企業債	出資金 ・負担金・補助金	補てん財源	減債積立金	114,232,243
	143,606,400	100,000,000 69.6 %		43,606,400 30.4 %	500,739,264
支出	建設改良費			企業債償還金	
	644,345,664	499,545,421 77.5 %			144,800,243 22.5 %

【表-3】 前年度との比較(資本的収支)

単位:円(税込)

区 分	令和5年度 A	令和4年度 B	比較増減	
			C=A-B	C/B×100
資本的収入	143,606,400	113,831,600	29,774,800	26.2 %
企業債	100,000,000	80,000,000	20,000,000	25.0 %
出資金	30,568,000	30,129,000	439,000	1.5 %
負担金	1,038,400	3,702,600	△ 2,664,200	△ 72.0 %
工事負担金	0	1,725,900	△ 1,725,900	皆減 %
他会計負担金※1	1,038,400	1,976,700	△ 938,300	△ 47.5 %
補助金	12,000,000	0	12,000,000	皆増 %
資本的支出	644,345,664	459,250,351	185,095,313	40.3 %
建設改良費	499,545,421	319,100,912	180,444,509	56.5 %
営業設備費	62,716,630	62,074,442	642,188	1.0 %
水道施設整備費	164,182,499	46,258,630	117,923,869	254.9 %
配水管整備費	272,646,292	210,767,840	61,878,452	29.4 %
企業債償還金	144,800,243	140,149,439	4,650,804	3.3 %

※1 他会計負担金は、消火栓新設・更新に係る一般会計からの基準内繰入金。

3 事業の概要

(1) 施策目標達成に向けた取組

第3次滝沢市水道事業ビジョン(令和5年度～令和14年度)に掲げる基本理念と施策目標のもと、経営の健全化と安全な水の供給に努めました。

【基本理念】信頼され続ける水道

【施策目標】安心・安全…安心して飲むことができる安全な水道
安定・強靱…安定した給水を実現する強靱な水道
環境・持続…環境に配慮した持続可能な水道

安心・安全 ……安心して飲むことができる安全な水道

・水道施設整備費

「柳沢取水ポンプ場受変電設備等更新工事」ほか3件

・水源の確保と保全

岩手山麓の良質かつ豊富な地下水を保全するため周辺用地の刈払いや土地所有者との意見交換を継続し水道水源保護区域内の2筆(8,295㎡)について用地取得したほか、運転管理業務受託者と連携し、水源の監視と利用を維持しました。また、令和5年12月に諸葛川からの取水を停止したことから、地下水比率は前年度に比べ向上しました。

安定・強靱 ……安定した給水を実現する強靱な水道

・配水管整備事業費

「配水管布設替(牧野林地区)工事」ほか7件 布設延長 L=2496.3m
「漏水調査業務」 路面音聴L=83km 発見箇所 5箇所

・災害応急対策の充実

岩手県と滝沢市が合同で実施した総合防災訓練において、応急給水訓練を実施したほか、元村地区においても市民を交えた応急給水訓練を実施し、職員の災害、事故等への対応力と防災意識の向上に努めました。

環境・持続 ……環境に配慮した持続可能な水道

・水道利用者に密着したサービスの向上

納付機会の拡大と感染症予防を目的とした新たなキャッシュレス決済方法としてスマートフォンによるコード決済を導入し、令和5年10月より開始した消費税のインボイス(適格請求書)制度について、水道料金等徴収業務の受託者と連携し対応を行いました。

・広聴広報の充実

感染症予防のため開催を見合わせていた施設見学会を4年ぶりに再開し、上下水道広報誌「ちゃぐ水だより」の年3回発行、ホームページによる情報提供を継続して行いました。

(2) 主な指標の目標値の達成状況

水道ビジョンに掲げる施設整備や事業経営に関する主な指標の目標値及び達成状況は【表-4】のとおりとなっています。

- ・地下水比率は、今年度は0.8ポイント上昇し、99.3%でした。
- ・有収率は、今年度は0.1ポイント上昇し、92.4%でした。引き続き、漏水防止対策に取り組むこととしています。
- ・管路耐震化率は、管路全体で0.8ポイントの上昇、幹線管路(口径200mm以上)で1.2ポイント上昇しています。
- ・営業利益、経常利益とも増加し、経営資本営業利益率が0.07ポイント、経常収支比率が2.33ポイント、それぞれ前年度を上回る結果となりました。
- ・給水収益に対する企業債残高の割合については、今年度は2.97ポイント低下しました。

【表-4】指標達成状況

指標名	令和5年度	令和4年度	比較増減	目標値 (令和9年度)	目標値との差
地下水比率 (%)	99.3	98.5	0.8	≧ 99.5	↓ 0.2
有収率 (%)	92.4	92.3	0.1	≧ 91.0	↑ 1.4
管路耐震化率(全線) (%)	35.1	34.3	0.8	≧ 38.4	↓ 3.3
管路耐震適合率(全線) (%)	46.0	45.3	0.7	-	-
管路耐震化率(幹線) (%)	27.4	26.2	1.2	≧ 27.1	↑ 0.3
管路耐震適合率(幹線) (%)	51.0	50.0	1.0	-	-
経営資本営業利益率 (%)	1.08	1.01	0.07	≧ 0.5	↑ 0.58
経常収支比率 (%)	123.55	121.22	2.33	≧ 112.0	↑ 11.55
給水収益に対する企業 債残高の割合 (%)	229.66	232.63	△ 2.97	≦ 268.0	↑ 38.34
給水原価 (円/m ³)	155.74	158.92	△ 3.18	≦ 175.0	↑ 19.26
供給単価※ (円/m ³)	179.86	179.16	0.70	166.2	13.66

※ 供給単価の目標値の設定なし。参考値(令和4年度類似団体平均値)。

※ 「目標値との差」において、「↑」は達成、「↓」は未達成。

$$\cdot \text{経営資本営業利益率} = \frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100 = \frac{116,240,492}{10,747,629,110} \times 100 = 1.08 \%$$

$$\text{経営資本} = \frac{\text{期首} + \text{期末}}{2} = \frac{10,669,494,470 + 10,825,763,749}{2} = 10,747,629,110 \text{ 円}$$

$$\cdot \text{経常収支比率} = \frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100 = \frac{1,025,866,739}{830,349,172} \times 100 = 123.55 \%$$

$$\cdot \text{給水収益に対する企業債残高の割合} = \frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}} \times 100 = \frac{1,954,164,542}{850,888,763} \times 100 = 229.66 \%$$

$$\cdot \text{給水原価} = \frac{(K)}{\text{年間総有収水量}} = \frac{736,788,770}{4,730,931} = 155.74 \text{ 円/m}^3$$

$$(K) = \text{経常費用} - \text{受託工事費} - \text{長期前受金戻入益}$$

$$= 830,349,172 - 0 - 93,560,402 = 736,788,770 \text{ 円}$$

$$\cdot \text{供給単価} = \frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}} = \frac{850,888,763}{4,730,931} = 179.86 \text{ 円/m}^3$$